

西白山台小学校の校歌に込めたおもい

歌人 梅内美華子

新設の西白山台小学校を見学させていただき、学校周辺の環境、木材を利用したすばらしい校舎、児童の皆さんの素直で元気な姿にまず感動を覚えました。そのことを、短い詞ですが十分にこめたいと考えました。

みどりの森の保全は子どもたちの未来に関わり、いまもその森からいろいろな鳥が飛んできてさえずりを降らします。それは児童の皆さんを励ましているように思いました。また鳴き声の美しさ、純粹性に耳をかたむけて学び、感性を養っていただきたいと思いました。

小川の流れは水の豊かさ、土や緑を作ります。小さな流れが大きな海に注ぐように未来に希望をもち、児童の皆さんの将来がすこやかに開けるようにと願いをこめました。また児童の皆さんも小川に手や足を浸して遊ぶことがあると思います。小学校での学びの体験はかけがえのない思い出になります。

大人になっても西白山台小学校の校歌を口ずさみ、友達や先生を思い出してほしいと思います。そのような思いをこめて校歌を考えました。